



12月に入り、「冬」本番を迎える季節になりました。例年より暖かく感じますが、気温の変化に気を付けて、かぜなどひかれませぬように…。

さて、先月の25日（金）に本校の「外国語活動」の集大成となる第3年次の公開授業研究会が行われました。市内外、及び県外からもたくさんの先生方が参観に来られました。これまでの活動の成果を十分に発揮してくれた子どもたちでした。また、たくさんの御支援と、当日のお手伝い及び当日までの準備をしていただいた、育友会の皆様にも厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

「楽しみながらコミュニケーション力を高める外国語活動の在り方」をテーマに取り組んできた校内研究ですが、どの活動も子ども達と先生方の笑顔と活気であふれていました。今回は、たくさんの「おほめの言葉」をいただいた研究授業の様子と、モライア先生の手作りカレンダーを紹介します。

### 「どうぶつゲームで楽しもう」 2年1組 Eタイム

はじめに、英語の歌を歌って、動物を題材にしたカードゲームをしました。子どもたちも、モライア先生と古川先生のデモンストレーションを見て、ゲームに挑戦です。ペアを作ってペア同士対戦します。楽しく活動するための「約束」もしっかりと確認して、ゲームを進めます。勝敗よりも、モライア先生や友だちと積極的に活動を楽しむことがねらいです。たくさんの動物の名前を、大きな声で英語で表現したり、楽しくゲームに参加したりと、あっという間に時間が過ぎました。



### 「ジェスチャーを使って楽しもう」 3年1組 Eタイム

3年生のEタイムは、子ども達が日頃聞き慣れている動作を中心に、ジェスチャーを行いながら活動するという内容でした。英語によるゲームを通して、英語とスポーツとのつながりに気付いたり、先生達や友だちとのふれあいを楽しんだりする子どもたちの姿が見られました。教室には、hit/throw/run/jump/kick/catchの英語を書いた絵が貼られ、子ども達は、インタビューでモライア先生や白濱先生が答える好きなスポーツに応じた動作のコーナーに動きます。タンバリンのリズムで軽快に動く子ども達は楽しそうでした。



### 「オリジナル時間割を作ろう」 5年1組 外国語活動

5年生は、中学校の原田先生とともにこの数時間活動をしました。将来自分がやってみたいことや、日常の生活に目を向けたオリジナルの時間割を作り、最後にその時間割を紹介し合います。この時間は「時間割聞きとりゲーム」を中心に活動しました。英語での挨拶が済んだあと、プロジェクターに映し

出された画像を見ながら、大宅先生の声かけに合わせてリズムよく曜日や教科名を発音していきます。その後、中学校の時間割を知り、小学校との時間割の違いや共通点を見つけます。原田先生や中学生のインタビュー映像を見た後、将来の自分に必要な学習や興味のある学習を決めて行きます。その学習を週に1コマ「オリジナルタイム」として時間割に取り入れます。原田先生や中学生の映像は、とても興味があったようです。また、「オリジナル時間割」の発表では、友だちの将来の夢を知るだけでなく、その夢を実現させるために「オリジナルタイム」を色々と考えていることにも興味津々だったようです。中学校のこと・友だちのことを新しく発見できた活動でした。



## 「行ってみたい国を紹介しよう」 6年2組 外国語活動

6年生は、始業前から「ゴスペル」の合唱で盛り上がっていました。そのままの元気さで、授業開始後は来校された先生方と英語であいさつ。先生方は驚きながらも、にこやかに子ども達に対応されていました。元気な挨拶から始まって、画像に合わせてリズムよく国名やその国に行きたいわけを発音していきます。次に、「キーワード・カルタ取りゲーム」をします。山口先生と小野先生のやり取りを聞きながら、国名を当ててカードを取っていきます。その後、「先生が行ってみたい国はどこ？クイズ」「友だちの行ってみたい国はどこ？クイズ」をします。先生版では、校長先生・教頭先生・大古場先生・武富先生の映像が映し出され、ヒントを参考に行ってみたい国を推測します。友だち版では、ヒントの際に、絵や画像の一部・ブラックボックス・ジェスチャー・ジグソーパズルなど様々ものが出てきて、とても楽しいやり取りができました。先生や友達の新たな一面を知ることのできた活動でした。

子どもたちや先生方の顔写真が貼ってある世界地図が用意されていて、みんなどの国へ行ってみたいのか見てだけでも楽しくなります。みんなの夢は「世界」へ！そして、まだ見ぬ「世界の友だち」へとつながっていきます。



## モライア先生の手作りカレンダー☆12月 ☆☆☆☆☆



今月は「クリスマス」を迎える月、ということで、「アドベントカレンダー」の登場です。キリスト教圏では、12月になるとこのカレンダーを用意し、一日にひとつずつ、その日のカレンダーの中の窓や扉を開けていきます。そこには、楽しい絵や時にはお菓子・小さなおもちゃなどが用意してあって、ひとつ開くたびに子ども達は、より一層「クリスマス」への期待で盛り上がります。

朝日小の「アドベントカレンダー」はモライア先生の手作りです。その日の日付のひもをほどくと、中にはかわいいイラストや写真が貼ってあります。中には、こっそり先の分を覗く人も…！一日一日カレンダーをひもときながら待ちわびる「クリスマス」、どんな楽しいことが待っているでしょうね。